

## 第31期活動方針

2021年度は学園東町居住開始から34年目にあたり、連合自治会が発足して31年目を迎えます。学園東町においても、高齢化の進展、特殊詐欺対応等年を重ねるごとに解決すべき課題は増えています。昨年はコロナに始まりコロナ禍で年を越すなど今迄に経験したことのない環境の中での自治会活動を余儀なくされ、全てが思うように出来てはいませんが、学園東町連合自治会の目標である「安全、安心に暮らせるまちづくり」は些かも揺らぐことはありません。行きつく処『住民の交流と連携、多世代間のふれあいと助け合いを如何に深化させるか』に尽きると考えております。

その為の対応策は、下記項目に集約されます。

### 1. 各団体との連携、協力

学園東町ふれあいのまちづくり協議会をはじめ、西町連合自治会、大学・高専、小中学校、民生委員児童委員協議会、青少年育成協議会、シニアクラブなどの関係団体と密接に連携して、「防災・防犯・福祉を通じての安心安全なまちづくり」を進めます。

### 2. 防犯カメラと特殊詐欺対応

防犯カメラの設置推進を各自治会・管理組合が主体的に進める一方、連合自治会としても学園東町への侵入経路を中心に茲3年で27台設置致し、第30期も防犯の意識・犯罪の抑止力を更に高める事を重点的に推進して参りました。

一方で、前年度は特殊詐欺発生による警察からの連絡も2度あり、当連合自治会として各自治会における連絡・回覧・掲示による情報共有を徹底しております。その体制及び方法については尚一層強化していく所存であります。

### 3. 防災対策

学園東町は、風水害・土砂災害・火災・地震等の災害において特に注意しなければならないのはやはり地震です。地域の防災対策としてハード面は行政の力に依存の他ありませんが、ソフト面は地域の防災福祉コミュニティを中心とした常日頃からの隣近所の声掛け・情報共有出来る密接な関係の構築が重要と考えます。

前回作成から5年経過する安全マップの刷新も対応事項の一つになっております。

### 4. 福祉、環境、交流活動

敬老会などの福祉活動、クリーン作戦・まちピカ大作戦・美しい街作戦などの環境活動・ラジオ体操・ウォークラリーなどの交流活動、広報誌・ホームページ提供などの広報活動を関係団体と協力して推進することで、住民の交流を深めて参ります。

特に、ラジオ体操は東町公園・湯屋ヶ谷公園の2ヶ所で開催、参加人員も約500名を超え一旦減少していた参加人員も少しずつ回復してきております。これらの交流活動が老若男女を問わず人と人の繋がりをつくり、更に深める方途になっていく事を心から願っております。

### 5. まちづくり部会の活動

学園東町自体の成熟化、高齢化に対する地域住民の足として『まちバスを走らせる会』を中心に学園東町地域内公共交通導入に向け取組んで来た結果、ついに令和3年1月10日

に出発式を執り行い1月～3月に第1回の試験運行、その実績検討後の第2回の試験運行が予定されています。

目指すべきは、『地域住民の皆が乗って走らせるまちバス』であるという認識の共有が重要です。その共有を礎に収支面の安定化をはかること、これが今後の最重要課題と捉えています。

## 6. 連合自治会の課題とその対策

(1)連合自治会は現状18自治会で構成され各自治会間の連携を深めていますが、自治会加入は慣例とはなっているものの、自治会組織基盤の強化(会員数減少の歯止め)は喫緊の課題となっています。会員数の減少は、将来の自治会のあり方を左右するものであるだけに、その維持増強に向けての活動が必要とされるものと考えております。

そこで、行政との距離を縮める為に神戸市西区自治協議会への加入も検討しており、その存立基盤の強化に向けた具体的施策の策定と実行力が求められているものと認識しております。

(2)特に、運営において現状に出来るだけ適合しかつ活動がし易くなる様に、連合自治会規約の見直しも前年度実施致しました。各役員の業務内容の見直し及び各部会の活動内容も精査し、自治会運営に関わることが個人の負担ではなく皆で協力する事で個人の意欲に繋がる様に引続き実践していく事を最重要と捉えて活動して参ります。